

公表

事業所における自己評価総括表 放課後等デイサービス

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスそらまめはうす			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～	令和7年 12月 末日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	名	(回答者数)	名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～	令和7年 12月 末日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもとその親への共感、寄り添う気持ちを大切にしていること。	・スタッフ個々の能力よりもまず、他者への思いやりや共感を重視し人としての基本姿勢を大切にしている。	・左記を踏まえてスタッフの得意や特性を考慮した適材適所な配置を心掛け個性を生かした協力体制を作りたい。
2	親や当事者の困り事への素早い対応。	・親や当事者からのSOSには即座に対応することを心掛けている。それが人との信頼関係を築くための基本姿勢だとスタッフ間で共通認識ができています。	・話に耳を傾けるだけに終わらず、的確なアドバイスができるようスタッフ全体のスキルアップを心掛ける。
3	チームワーク、スタッフ間の信頼関係の強さ。	・スタッフ間に上下の関係がなく、誰でも思ったことを素直に言葉にして提言、提案が出ていて改善に繋がられている。	・支援力を更に磨くための研修等を増やしてスキルアップを図っていきチームワークの質を高めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	後継の育成	・療育は経験に基づいた知識と支援力が必要。指導力やノウハウを持った経験豊富な人材がリーダーを務めているがそのリーダーの後継を育てることが最大の課題。	・雇用環境を改善し常勤職員を初めスタッフを永く定着させる。・リーダーの退任後を想定してスタッフ全員で力を合わせて運営に当たっていけるよう準備を進めていく。
2	事業所内のキャパシティがなく、部屋数が少ない	・事業所内が手狭で部屋数が限られているため、個別の活動やグループ別の対応が難しい。様々な突発的な状況にも対応しにくい面がある。	・部屋をパーティション等で仕切る工夫をしてきたが別室での対応が望ましいこともある。事業所移転も視野に検討している。
3	財源不足により設備投資ができない。	・人件費や維持費がかさみ、遊具や支援に必要な備品等の購入が思うようにできない。	・作業の効率化を進め時間を作り、自作できるものは自分たちで作って行く。・給付費以外で収益を確保できる方策を考える。